

発刊にあたって

記念誌編集委員代表

城山町一丁目区長	田中 茂夫
城山町二丁目区長	笠原 了
城山公民館長	荒井 道明
高崎経済大学名誉教授	大宮 登

城山町が誕生、そして昭和 57 年 4 月に町内会が発足して 40 年になりました。過去 3 度の記念誌を発刊しており、40 周年記念事業の一環としても記録を残すという観点からも記念誌を発刊することとなりました。

現在城山町では少子高齢化が進み人口減少が顕著となっています。人口はピーク時の 6 割を切り、児童数は 1 割に満たないまで減少しています。人口減少の大きな原因は県営住宅の入居率減少とともに、一般住宅における著しい少子化であると考えています。高崎駅にも近く、緑豊かな自然に抱かれた地域であるにも係わらず近隣地域に比べ人口減少少子化が目立つ原因は何か。地域の魅力づくりやその発信力を高めることが必要ではないかと考え、下記に掲げる記念事業に取り組みました。記念事業は、①城山の可能性と魅力を探るワークショップの開催、②環境整備事業、③情報収集及び発信事業、④記念誌発行事業、の 4 事業です。詳細は小誌掲載の「40 周年記念事業の概要」をご覧くださいと思います。当記念事業実施を通じて城山町の課題解決に少しでも貢献できればと念じております。また、記念誌発刊史上はじめての取り組みとして城山町に住み続けている方々の個人の意見・思い・感想などを「ひとことふたこと」として掲載させていただきました。原稿をお寄せいただきました皆様ご協力ありがとうございました。

記念誌発刊にあたり、住民・関係者等の皆様から原稿、資料、写真また多くの協賛金を賜りました。また記念事業実施にあたり、高崎市の行政当局の職員の皆様に多大なご支援ご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

今後城山町 50 年、60 年に向けて住民の親睦を図りながら町の魅力づくりに努め、住んで良かったと思える地域づくりを継続的に取り組んでまいりますので更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。